



徳島県立那賀高等学校

せせらぎ新聞

第87号

発行／那賀地域中高一貫教育研究委員会事務局
(徳島県立那賀高等学校内)
〒771-5209
徳島県那賀郡那賀町小仁宇字大坪179番地の1
電話：0884-62-1151
FAX：0884-62-2590
那賀高校ホームページURL
<https://naka-hs.tokushima-ec.ed.jp/>

「自ら学び、協働し、 地域社会に貢献する力」の育成

森と地域をフィールドにした探究活動と、
魅力ある学校づくりの推進



校長 長尾 真紀

本年4月から校長として勤務させていただいております。那賀高校での勤務は初めてとなります。校歌にある「太龍の峰 虚空にそびえ 那賀の清流 心を洗う」の一節通り、那賀川の清らかな流れと緑豊かな山々に囲まれ、地域に根ざした歴史と実績のある本校に勤務できる喜びを感じるとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いです。

本校の「スクール・ポリシー」における「育成をめざす資質・能力に関する方針」(普通科・森林クリエイト科共通)では、「自己の考えを伝え、相手の考えを聴く協働力と社会性の育成」「資格や技術をもとに地域社会に貢献できる実行力と頑張る力の育成」「未知の困難に対して、諦めないレジリエンス力の育成」を掲げています。那賀町とともにある高校として、また、普通科と農業科(森林クリエイト科)を併せ持つ県内唯一の高校として、生徒一人一人の可能性を伸ばし、地域社会に貢献する力の育成をめざしていきたいと、決意を新たにしております。

さて、4月8日には、普通科44名、森林クリエイト科20名の新生を迎え、全校生徒175名で新年度がスタートしました。本年度も、授業や進路指導の充実、生徒理解に基づいた生徒指導や人権教育の充実、本校ならではの教育活動の推進などに重点を置き、生徒が主体的に学ぶ活動を様々な場面で多く取り入れてまいります。その具体的な実践として、両学科において特色ある教育活動を展開しております。

各学科の取組につきまして、設置から11年目を迎えた森林クリエイト科は、

地方創生を担う林業のスペシャリストの養成を目標に、着実に実績を重ねています。那賀町、県、国の関係機関及び民間林業事業者の方々に御協力をいただきながら、林業現場での実習や大型林業機械、ドローン等の操作講習など、実践的な技術の習得に励んでいます。さらに、林業実践、地域資源、木材加工の各専攻の特長を生かした多岐にわたる学習を展開し、多くの成果をあげてまいりました。本年度は、全国の農業高校生にとっての甲子園と呼ばれる「第77回日本学校農業クラブ全国大会」(令和8年度南四国大会)が高知県と徳島県で開催されます。令和5年度の同大会では、本校の生徒が、最優秀賞である文部科学大臣賞を受賞するという快挙を成し遂げました。本年度も先輩の輝かしい足跡に続き、日頃の学びの成果を存分に発揮できるよう、万全の準備を進めてまいります。

普通科におきましても、生徒一人一人が自分の可能性を見つけ出し、個性を生かして能力を伸ばせるよう、少人数講座を中心とした、コース選択制を取り入れています。さらに、本年度からは、農業科目の「地域資源活用」をすべての普通科入学生が1年次で履修できるよう変更し、農業科との併置という本校の強みを生かしています。具体的には、那賀町内の方々に御協力をいただきながら、聞き取り調査やフィールドワークを実施し、町内の現状や課題への理解を深め、その解決に向けたプロジェクト学習に取り組んでいます。「地域資源活用」において地域資源に

関する知識・理解と探究の基礎的スキルを習得し、それをベースにして2・3年次での「総合的な探究の時間」における探究学習を深化・充実させてまいります。

各学科におけるこれらの取組は、「既存の枠組みにとどまらない、森と地域をフィールドに『やってみよう』という主体性を育む」本校ならではの試みです。少人数で丁寧な学びと、地域社会というリアルな現場で活動すること、そして未知の領域に果敢にトライすること。これら一連の探究活動を通じて、地域のために行動し、地域社会に貢献できる力を育むとともに、さらなる学校の魅力化・特色化につなげてまいりたいと考えております。

そして、本校は、今年度も「地域みらい留学」に参画し、全国から入学生を募集いたします。自然豊かな那賀町の魅力や本校の特色ある教育活動を全国に発信し、県外の広い地域からともに学ぶ仲間を迎えることは、本校にとっても地域にとっても、新しい風を吹き込む機会になると捉えております。

今年度の地域みらい留学パンフレットには、本校教職員が「生徒たちの可能性を信じ、一人一人の成長に伴走していきたい」という願いを込めて考えた、次のような言葉が表紙に掲げられています。「人生が動き出す3年間。」「ただの普通科じゃもの足りない。森と地域をフィールドに『やってみよう』が育っていく。」「この言葉の通り、生徒たちの成長は、決してはじめからすべてが順調にいくわけではありせん。しかし、豊かな自然と温かい地域に見守られながら、一人一人が自分のペースで少しずつ変わります。前に進んでいける環境が本校にはあります。参画3年目を迎え、少しずつ手応えと認知度の高まりを実感できるようになりました。今後はさらに確かな実績へとつながるよう、継続して取り組んでまいります。」

那賀高校は、保護者の皆様と地域の皆様方に支えられ、ともに歩んでいく学校です。生徒一人一人の夢の実現に向けて、教職員一丸となって全力でサポートしてまいります。子どもたちの可能性を最大限に引き出すためには、学校・家庭・地域が一体となり、協働していくことが不可欠です。今後とも変わらぬ御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



那賀高校
ホームページ

入学式

4月8日(水)、那賀高校教育振興協議会会長(那賀町長)をはじめ来賓4名のご出席をいただき、入学式を行いました。普通科44名、森林クリエイト科20名、計64名が那賀高生として新生活のスタートをきりました。新入生を代表して、普通科の徳永愛奈さんが、「那賀高校で地域創生の担い手としての自覚を持ち、人と人の絆を大切にして、勉強や部活動に励み、自己研鑽に努めます」と宣誓しました。



入寮式

4月8日(水)、入寮式を行いました。今年度は、23名の生徒が新しく若鮎寮生・竜峰寮生となりました。寮生長の高田俊さんより歓迎の言葉があり、新入寮生代表の喜多風佳さんが、これからの自立・自律を目指す寮生活への決意を宣誓しました。若鮎寮・竜峰寮の良い伝統が、新入寮生の皆さんに受け継がれていくことを期待しています。



1年

野外体験活動

4月15日(水)、1年生が野外活動を行いました。視聴覚室でレクリエーションを行った後、那賀町驚敷B&G海洋センターにグループごとに徒歩で移動しました。B&Gでは、グループに分かれて野外炊飯を行いました。まずは自分たちで火をおこしてお湯を沸かす方法を考え、途中からは森林クリエイト科3年生の先輩たちに教えてもらいながら、レトルトのカレーとご飯を作りました。時折雨が激しく降るあいにくのお天気でしたが、楽しんで協力して取り組む姿が見られました。



2年

3年

進路希望別 バス見学会

4月30日(木)、2・3年生を対象に進路希望別バス見学会が開催されました。午前中は各々が希望した企業や学校を見学しました。大学や専門学校、県内企業の方々にご協力いただき、学校の説明を受けたり、施設の見学、体験をすることができました。生徒にとっては「働く」ことを間近で見て体験し、学ぶことの出来た貴重な機会となりました。午後はあわぎんホールに集合し、より広範な企業や大学等から話を聞きました。企業や大学ごとのブースから、興味のあるところを3つ選択し、直接説明を受けたり、質問をしたりしながら進路について考える時間となりました。生徒が自らブースに向かい積極的に質問をする姿が見られ、「進路についてよりイメージがしやすくなった」という声も聞かれました。自らの進路について主体的に考え、切り拓いていく機会として大切な一日となりました。



県総体を終えて

—主将のコメント—

今年も各会場で熱い戦いが繰り広げられました。本校からは、バドミントン部・女子バレーボール部・弓道部・ソフトテニス部・カヌー部・硬式野球部が参加しました。直前に台風6号が四国近くを通過し、影響が心配されましたが、選手全員が全力で取り組み、よい思い出ができたのではないのでしょうか。選手の皆さん、お疲れ様でした！

弓道部

残念な結果とはなりませんが、今後の大会ではよい成績を残せるよう、これからも部員一同、全力で練習してまいります。また、毎日の練習では、ただ弓を引くだけでなく、必ず何かを学び、着実に成長できるような部活動にしていこうと思っています。

バレーボール部

今回の大会では、自分たちの力を十分に発揮することができず、とても悔しい思いをしました。バレーボールは1人ではできないスポーツです。次の大会はベスト8を目標に、技術の向上だけでなく苦しい場面でも声を掛け合い、ミスを引きずらず支え合えるチームを目指します。

ソフトテニス部

3年生にとっては高校生活最後の総体でした。悔しい結果で終わってしまった人もいますが、ペアで協力し、全力でプレーをすることができました。これからは、自分たちの苦手なところを練習し、1点でも多く取り、順位を1つでもあげていい成績を残したいと思います。

バドミントン部

望んだ結果ではありませんでしたが、得られるものもあり、全力でやりきったので満足しています。今後も部員それぞれが自分の目標に向かって頑張ります。応援ありがとうございました。

カヌー部

インターハイでは、決勝に進出し、入賞することが目標です。キャプテンとしてチームを引っ張っていきけるように頑張ります。

硬式野球部

県総体南部ブロック大会では結果が残せませんでしたが、夏の大会は3年生最後の試合なので、全力で戦います。

四国総体

6月20日(土)・21日(日)、高知県須崎市の須崎市立スポーツセンターカヌー競技場にて、カヌー競技の四国総体が行われました。カナディアンではシングルで1位と2位を獲得し、ペアでは3位、フォアでは2位となりました。カヤックでは1年生が出場し、入賞とはなりませんでしたが記録を残し、学びを得た大会となったようです。7月末以降に開催されるインターハイに向け、四国のライバル達と切磋琢磨し価値のある大会とすることができました。応援いただきありがとうございます。

「フォレストキャンパス那賀」入山式

5月21日(木)、フォレストキャンパス那賀で森林クリエイト科、第11期生の入山式が行われました。女子3名、男子17名の合計20名が入山式に参加しました。県阿南農林事務所那賀支所 松下支所長様より激励をいただき、生徒を代表して柴田朔弥さんが、「次代の林業を担う人材を目指して、何事にも前向きに精一杯挑戦していきます。」と力強く決意を述べました。

1年 遠足(球技大会)

6月24日(水)、太龍寺への徒歩遠足を予定していましたが、あいにくの雨で中止となり、体育館で学年の球技大会を行いました。全員でラジオ体操をした後、各クラス2チーム、合計6チームのバレーボール総当たり戦を行いました。その後は、3クラス対抗のドッジボールを行い、大いに盛り上がりました。気温もあまり高くなりず、運動にちょうどよい日でした。試合や練習を通してクラスメイトとの仲も深まり、学年の連帯感も生まれてきました。「楽しかった」「また学年の球技大会がしたい」という感想も多く聞かれ、次回の開催が期待されています。

3年 遠足

6月24日(水)に3年生が兵庫県へ遠足に行きました。台風接近による大雨となってしまいましたが、参加した生徒は何事もなく帰ってくることができました。元町駅で解散した後、生徒はグループで計画した研修先へ向かっていきました。遠足の感想文や写真を見ると、それぞれのグループで綿密に計画を立てて兵庫を満喫できたようです。自分たちで計画通り研修を行えたことは今後の大きな自信となるはずです。3年生としては校外で行う最後の学校行事であり、よい思い出になればと思います。

刈り払い講習

4月24日(金)、那賀町ビジネスセンターで森林クリエイト科1年生20名が、刈り払い機作業等特別教育を受講しました。この講習の目的は、刈払機に関する知識や技術を習得し資格の取得を行うことで、今後の専門学習の進化につなげることです。講師に元高度支援員 仁木龍祐氏、那賀町林業振興課主事 福永啓太氏をお招きし、学科講習、実技講習を行った後、実践講習をフォレストキャンパス那賀で実施しました。

令和8年度 第1回 那賀地域中高一貫教育研究委員会 開催

(6月29日(月) 15:00~本校研修館)

徳島県教育委員会、那賀町教育委員会より挨拶をいただき、本校、長尾校長が挨拶に続いて現状報告並びに中高連携に対する取組について説明を行いました。また各専門委員会の取組についての報告を受け、今年度の計画について確認しました。連携中学校の校長先生からも、連携の方向性、必要性について意見をいただきました。今後もよりよい連携を築いていきたいと思います。

第1回 那賀高校学校運営協議会 開催

(6月16日(火) 15:00~本校研修館)

那賀町教育長(会長)、学校長(副会長)、協議会委員4名の方へ出席いただきました。令和8年度の学校経営方針等について説明、協議を行い承認をいただきました。また各委員から、地域と連携した教育活動等について貴重なアドバイスをいただくことができました。ありがとうございました。

P T A 総会と授業参観

5月9日(土)に、授業参観及びPTA総会を実施しました。授業参観では、70名を超える保護者の方に学校生活における生徒の様子を見ていただくことができました。PTA総会では、議案についての決議や新役員の選出があり、蔭山会長様から近藤新会長様へと引き継がれました。3年間という長きにわたり、会長としてご尽力いただいた蔭山様へ、川西教頭が代表して感謝の気持ちをお伝えしました。日頃から本校の教育活動にご協力いただいている皆様の支えの大きさを、改めて実感できる会となりました。総会後は、学年部会や3年生進路説明会、個人懇談が行われました。ご多忙の中、ご参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。今後もより一層、教育活動の充実に努めてまいります。